



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 チヨダ
 コード番号 8185 URL <http://www.chivodagr.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 舟橋 政男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田木 敬

TEL 03-3316-4131

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	40,237	2.4	4,238	36.8	4,437	37.3	2,404	389.4
24年2月期第1四半期	39,311	△6.5	3,097	112.7	3,232	96.6	491	14.9

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 2,350百万円 (1,118.7%) 24年2月期第1四半期 192百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	60.53	60.45
24年2月期第1四半期	12.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	128,556	73,597	52.9
24年2月期	126,756	72,719	52.9

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 67,985百万円 24年2月期 67,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	20.00	—	30.00	50.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,525	△1.6	5,745	8.4	5,998	6.7	3,000	74.2	75.55
通期	151,823	△1.5	11,535	7.5	12,032	6.1	5,776	19.4	145.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期1Q	41,609,996 株	24年2月期	41,609,996 株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	1,889,370 株	24年2月期	1,888,906 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期1Q	39,720,759 株	24年2月期1Q	39,721,335 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

平成25年2月期の個別業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	55,841	△0.6	5,124	9.8	2,719	64.7	68	45
通期	109,600	△0.6	9,400	6.3	4,970	41.4	125	12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 個別経営成績(累計)	10
(2) 個別財政状態	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、震災後の復興需要等により景気が緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州の債務危機問題や新興国の景気後退、国内においては消費税増税問題や電力問題等もあり依然として先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

このような状況は、当社グループが属する小売業界にとって厳しい環境と言わざるを得ず、各社とも、これに対処すべく懸命な経営努力を積み重ねている現状と認識しております。

当社グループにおきましては、昨年3月の東日本大震災で大きく売上を落したこともあり、当第1四半期連結累計期間の売上は、既存店、全社ともに前年同期を上回って推移いたしました。

また収益面におきましては、P B (プライベートブランド) 及びN P B (ナショナルプライベートブランド) 戦略の推進による粗利益率の改革、販管費の抑制、慎重な出店戦略の推進、不採算店のリストラなどに取り組んだ結果、増益を確保いたしました。

当第1四半期連結累計期間の出退店は、出店12店、退店18店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、靴事業1,136店(前年同期比28店減)、衣料品事業479店(同37店減)の合計1,615店(同65店減)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高40,237百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益4,238百万円(同36.8%増)、経常利益4,437百万円(同37.3%増)、四半期純利益2,404百万円(同389.4%増)となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<靴事業>

当第1四半期連結累計期間における靴事業の売上は、震災の反動で3月の売上が大きく前年同期を上回ったほか、客数・客単価ともに前年同期を上回り増収となりました。

商品面におきましては、紳士靴部門は紳士カジュアルの「バイオフィッター・フォーメン」が好調に推移いたしました。婦人靴部門ではエレガントパンプスが好調だったほか、カジュアル系の「バイオフィッター・クレイウォーク」が堅調に推移し、「m c マリ・クレール」が大幅に売上を伸ばしました。また、学生靴として洗えるローファー「セダー・クレスト・ウォッシュャブル」がTVCMの効果もあり大きく売上を伸ばしました。スニーカー部門は4月にアメリカの有名ブランド「K e d s」の当社限定コレクションをローンチし好評を得ました。また、有名タレントを起用した「セダー・クレスト」のキャンパス・スニーカーやトニングシューズ、N P B「O p (オーシャンパシフィック)」が好調に推移いたしました。また、低単価商品の粗利益の構造改革として取り組んでおります「高品質・低価格」の統一販促「990プロジェクト」・「1990プロジェクト」が売上を牽引いたしました。この結果、P B 及びN P B 等のシェアは前年同期と比較して3.8ポイント増の約35%となりました。

粗利益率は、P B 及びN P B 等のシェアの増加等により前年同期と比較して上昇いたしました。経費面では、当第1四半期連結累計期間は微減で推移いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間の靴事業の営業利益は、前年同期と比較して増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の出退店は、靴チヨダを中心として出店6店、退店9店を実施し、当第1四半期連結会計期間末店舗数は1,136店(前年同期比28店減)となりました。

この結果、売上高は30,506百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

<衣料品事業>

当第1四半期連結累計期間における衣料品事業の売上高は、昨年の震災の反動により3月の売上が大きく上回り、前年同期の売上を確保し増収となりました。

商品面におきましては、機能を付加したP B 商品として「ナノプラチナデニム」、「香り付Tシャツ・ジーンズ」、「着心地ひんやりインナー S A R A R I C o o l」を開発、ローンチし好評を得ました。

販売施策におきましては、TVCMの実施、フリーマガジンの発行、モバイル会員への情報発信など積極的な販売促進策を実施いたしました。また、毎月15日・16日を「シルバーデー」として60歳以上のお客様に割引を実施するなど、一層の客層拡大に努めました。

粗利益率は、商品在庫の鮮度向上による建値消化率アップにより前年同期と比較して1.2ポイント増の49.1%となりました。経費面では、販管費の戦略的なコントロールに注力いたしました結果、当第1四半期連結累計期間は増益となり、営業利益812百万円(前年同期比95.0%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の出退店は、6店を新規に出店し9店の退店を行い、当第1四半期連結会計期間末店舗数は479店(前年同期比37店減)となりました。この結果、売上高は9,730百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、128,556百万円(前連結会計年度末比1,799百万円増)となりました。

流動資産は、82,596百万円(前連結会計年度末比2,595百万円増)となっております。これは、主として現金及び預金が46,242百万円(前連結会計年度末比782百万円減)、受取手形及び売掛金が3,218百万円(同1,284百万円増)、商品が30,574百万円(同2,339百万円増)となったことによるものであります。

固定資産は、45,959百万円(前連結会計年度末比795百万円減)となっております。これは、主として投資有価証券が9,033百万円(前連結会計年度末比452百万円減)、敷金及び保証金が19,340百万円(同370百万円減)となったことによるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、54,959百万円(前連結会計年度末比921百万円増)となりました。

流動負債は、39,988百万円(前連結会計年度末比939百万円増)となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が27,035百万円(前連結会計年度末比1,735百万円増)となったこと、未払法人税等が1,752百万円(同1,078百万円減)となったこと、賞与引当金が1,081百万円(同470百万円増)となったことによるものであります。

固定負債は、14,970百万円(前連結会計年度末比17百万円減)となっております。これは、主として役員退職慰労引当金が5百万円(前連結会計年度末比132百万円減)、その他が984百万円(同127百万円増)となったことによるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、73,597百万円(前連結会計年度末比877百万円増)となりました。これは、主として利益剰余金が56,372百万円(前連結会計年度末比1,212百万円増)となったことによるものであります。自己資本比率は52.9%(前連結会計年度末0.0%減)となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(役員退職慰労引当金)

連結子会社㈱マックハウスの役員退職慰労引当金については、従来、役員に対する退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく要支給額を計上しておりましたが、平成24年4月10日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成24年5月23日開催の定時株主総会において在任期間に対応する退職慰労金の打ち切り支給を行うことを決議しております。

なお、支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とし、当該総会までの期間に相当する役員退職慰労金相当額135百万円を固定負債の「その他」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 2 月 29 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 5 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,024	46,242
受取手形及び売掛金	1,933	3,218
商品	28,235	30,574
繰延税金資産	1,081	961
その他	1,743	1,611
貸倒引当金	△16	△11
流動資産合計	80,001	82,596
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,762	4,723
工具、器具及び備品 (純額)	500	503
土地	3,242	3,240
リース資産 (純額)	475	448
その他	6	13
有形固定資産合計	8,987	8,929
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	9,485	9,033
敷金及び保証金	19,710	19,340
繰延税金資産	3,561	3,673
その他	1,477	1,465
貸倒引当金	△153	△145
投資その他の資産合計	34,082	33,368
固定資産合計	46,755	45,959
資産合計	126,756	128,556
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,299	27,035
ファクタリング債務	3,166	2,832
短期借入金	740	740
1年内返済予定の長期借入金	1,046	1,022
リース債務	196	204
未払法人税等	2,831	1,752
未払消費税等	498	410
賞与引当金	611	1,081
店舗閉鎖損失引当金	187	151
リース資産減損勘定	477	417
資産除去債務	26	42
その他	3,968	4,297
流動負債合計	39,049	39,988

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
固定負債		
長期借入金	1,592	1,626
リース債務	390	370
繰延税金負債	40	39
退職給付引当金	7,851	7,936
役員退職慰労引当金	138	5
転貸損失引当金	567	554
長期預り保証金	842	848
長期リース資産減損勘定	582	500
資産除去債務	2,124	2,103
その他	857	984
固定負債合計	14,988	14,970
負債合計	54,037	54,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	55,160	56,372
自己株式	△3,026	△3,027
株主資本合計	66,516	67,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	521	257
その他の包括利益累計額合計	521	257
新株予約権	39	39
少数株主持分	5,642	5,572
純資産合計	72,719	73,597
負債純資産合計	126,756	128,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 5 月 31 日)
売上高	39,311	40,237
売上原価	20,369	20,390
売上総利益	18,941	19,847
販売費及び一般管理費	15,844	15,608
営業利益	3,097	4,238
営業外収益		
受取利息	25	24
受取配当金	6	6
受取家賃	321	321
その他	147	173
営業外収益合計	501	524
営業外費用		
支払利息	16	13
不動産賃貸費用	296	293
転貸損失引当金繰入額	49	16
その他	4	3
営業外費用合計	366	325
経常利益	3,232	4,437
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	46
店舗閉鎖損失引当金戻入額	0	7
負ののれん発生益	—	60
その他	4	5
特別利益合計	4	121
特別損失		
固定資産除却損	13	9
投資有価証券売却損	—	2
減損損失	243	98
店舗閉鎖損失引当金繰入額	24	—
災害による損失	206	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,611	—
その他	9	23
特別損失合計	2,108	133
税金等調整前四半期純利益	1,128	4,425

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
法人税、住民税及び事業税	1,175	1,681
法人税等調整額	△441	128
法人税等合計	733	1,810
少数株主損益調整前四半期純利益	395	2,614
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△95	210
四半期純利益	491	2,404

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	395	2,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△202	△264
その他の包括利益合計	△202	△264
四半期包括利益	192	2,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	288	2,139
少数株主に係る四半期包括利益	△95	210

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成25年2月期第1四半期の個別業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	29,583	2.4	3,272	27.5	3,534	32.4	2,041	227.0
24年2月期第1四半期	28,894	△5.2	2,566	91.3	2,669	68.2	624	△9.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年2月期第1四半期	51	39	51	33
24年2月期第1四半期	15	72		—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
25年2月期第1四半期	96,857		59,638		61.5	1,500	47	
24年2月期	94,688		59,054		62.3	1,485	73	

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。